



みなみ風

学校教育目標 人間力を高め、未来にはばたく児童生徒の育成

合言葉 私たちの最上位目標は、子どもの幸せ

学園だより 令和4年4月18日 第2号 みなみ学園義務教育学校

一番大切なものは「いのち」～いのちを守る活動から～



上履きで避難したので、上履きをふく雑巾が用意されました。

9年生が率先して雑巾を洗い、片づけていて、素晴らしい！

4月13日(水) 避難訓練(地震・火災)と引き渡し訓練から～保護者の皆様、ご協力をありがとうございました～

避難訓練では、子どもたちは「おさない・かけない・しゃべらない・もどらない」の約束を守って避難することができました。避難を呼びかけるアナウンスから2分かからずに、1年生から9年生まで全員が校庭に避難できたのは立派でした。私は、子どもたちに「1か月前の3月16日にも大きな地震があったこと、残念だけれど、地震はこれからも起きてしまうこと、11年前の3月、6年生はまだ赤ちゃんだったころ、東日本大震災が起きて、夜になっても明るいのは星だけで、辺りは真っ暗だったこと。」などを話しました。そして、「あの時とても怖かったことを、私は一生忘れない。もし本当に地震が起きたら、今日訓練したことを生かして避難しましょう。」と伝えました。

その後、引き渡し訓練が行われました。保護者の皆様のご理解とご協力により、スムーズに引き渡しができたことに、感謝申し上げます。万が一、ご家庭で地震・火災などに遭った際の行動についても、話題にしていだけたらと思います。

4月15日(金) 1・2年生、6・7年生が交通安全教室を行いました

笠間警察署交通課、交通安全協会事務局、交通安全指導員、交通安全母の会の皆様に、自転車の安全な乗り方や道路の渡り方などを教えていただきました。腹話術「ケンちゃん」のユーモラスなお話にも、1・2年生は大喜び！また、実際に自分の目で「右・左・右」を確認して道路を横断する練習も行うこともでき、今後に生かせる学習になりました。

6・7年生の交通安全教室は、本来であれば校庭で行う予定でしたが、雨天のため急遽体育館に場所を変更して行いました。それでも、実際自転車に乗って「安全な自転車運転」を体験することができ、充実した学習になりました。警察の方から、「今日お話をすることは、みなさんすでに分かっていることかもしれませんが、一年に一度、しっかり復習することは大切です。」というお話がありました。子どもたちは、よく話を聞いて、しっかり復習できたと思います。



創作部の皆さんの作品にいつも癒されています

本校では、子どもたちの実態から、今年度は、「自分の考えをもつ」「考えを発信する」力をさらに育てていきたいと考えています。この力が育っていくには、自分の考えを発信(伝える)した時に、聞いてくれる・受け止めてくれる相手が必要だと思っています。昔から「聞き上手は話し上手」と言われています。今年度の後期課程開始式、始業式、入学式それぞれで、私は、話を聞くことの大切さを繰り返し子どもたちに伝えてきました。上の写真を見ると、黄色い帽子の1・2年生が、目と耳と心で話を聞いている様子が伝わってきて、とてもうれしくなりました。

(文責：野尻)